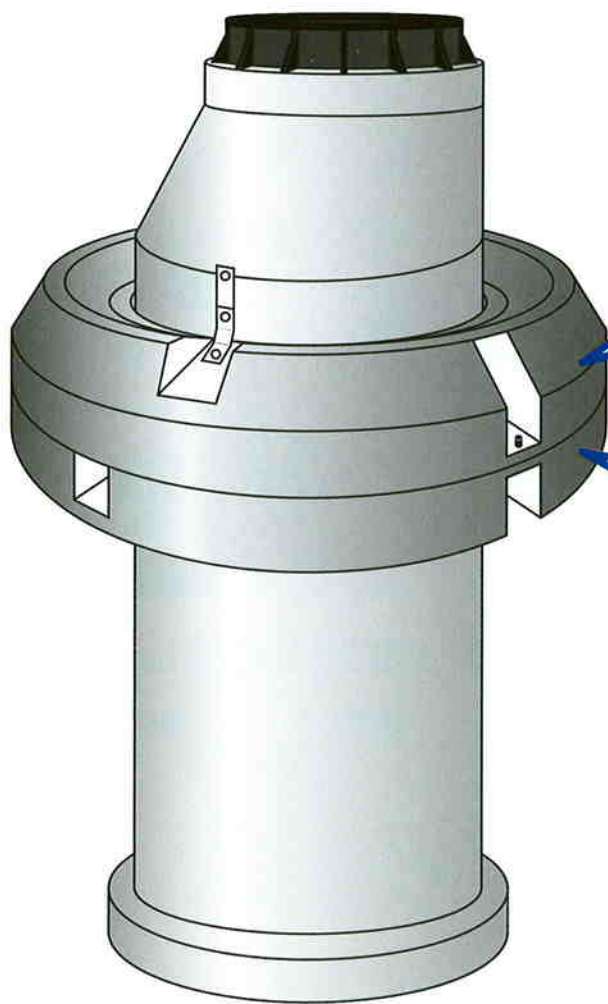


液状化によるマンホール浮上抑制対策

# 耐震化マンホール AF(アンチ・フロート)リング



AFリング(A)



AFリング(B)

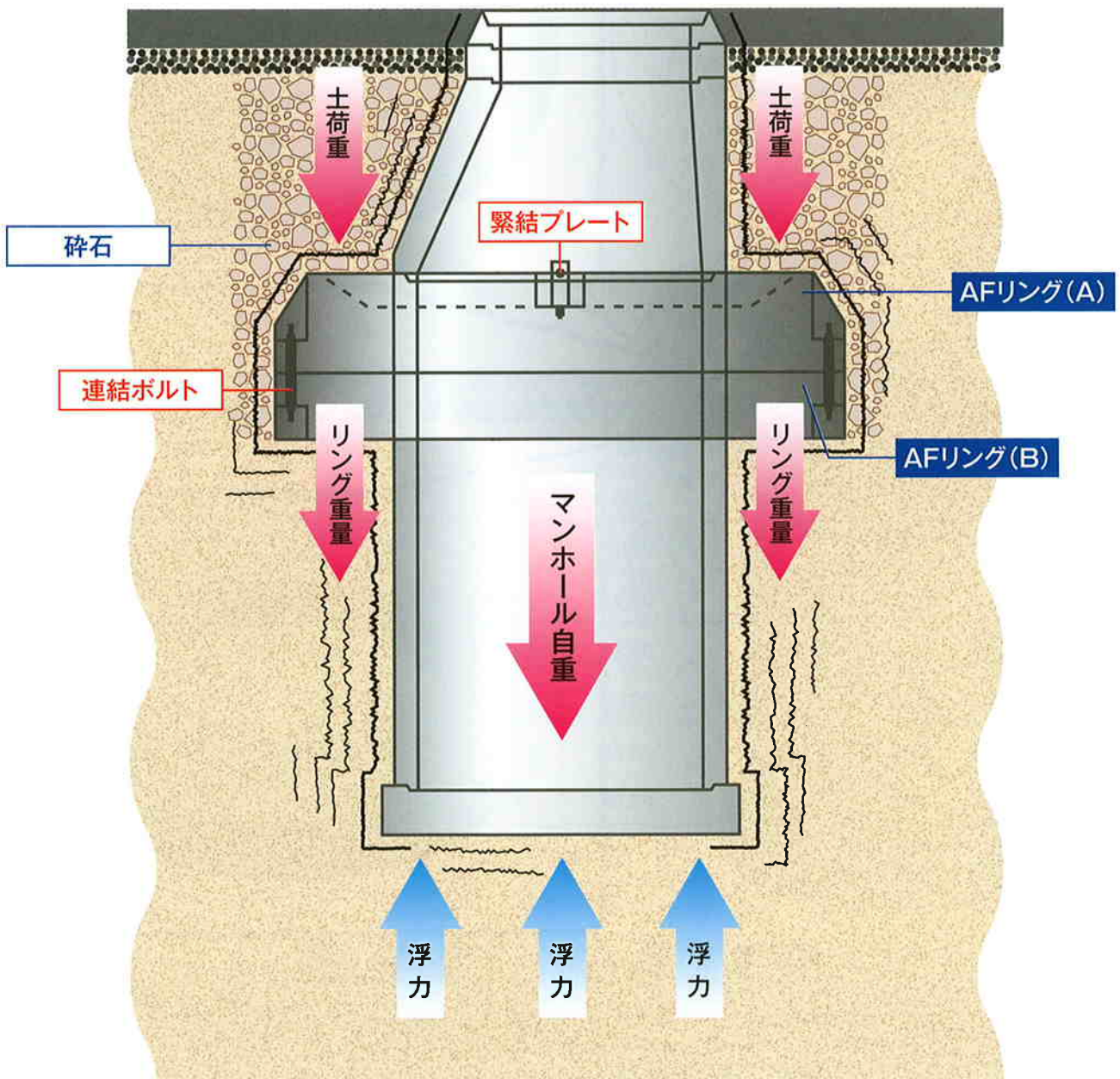
## 特 長

AFリングは、マンホールの外周部にコンクリート製リングを設置し、緊結プレートにより、リングとマンホールを一体化した構造で、リングの自重及びリング上面の砕石埋戻し土により、液状化で生じるマンホールの浮上を抑制する製品です。

また、リング形状を凸型のテーパ形状としているため、浮力による垂直上向き力が周囲地盤へ分散伝達され、土のせん断破壊力を軽減でき、浮き上がり抵抗力を高めます。

AFリングは、テーパ形状のAFリング(A)及びフラット形状のAFリング(B)の2種類があります。

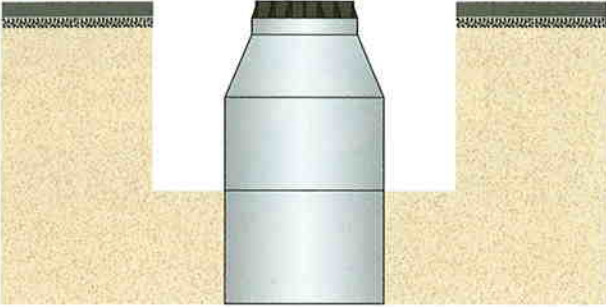
地下水位の高い現場や設置深さが深いマンホールなど、液状化時に発生する浮力が大きい場合に、AFリング(B)を複数枚使用することでリング重量を増加させることができるので、浮力に合わせた合理的な設計をすることが可能です。



# 施工手順(2枚設置の場合[0,1号用の場合])

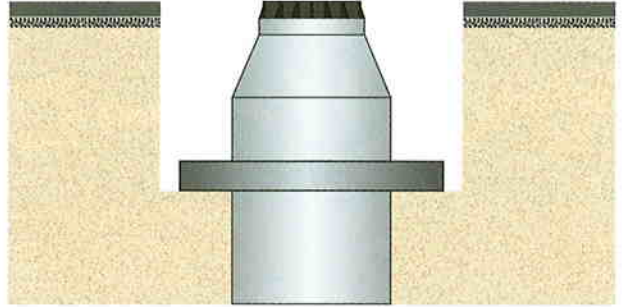
## ① 掘削

マンホール周辺を所定の深さまで掘削します。



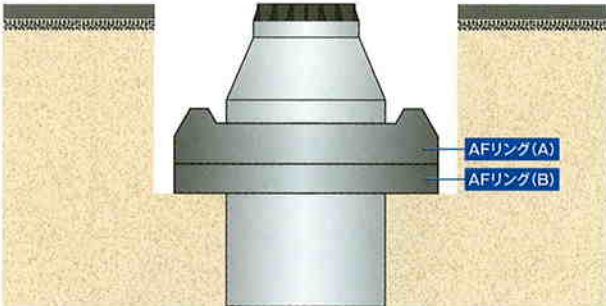
## ② AFリング(B)設置

クレーンによりAFリング(B)を吊り降ろし据付けます。



## ③ AFリング(A)設置

クレーンによりAFリング(A)をAFリング(B)の上に吊り降ろし据付けます。



## ④ リング連結

AFリング(A)とAFリング(B)をボルトにより連結します。



## ⑤ 緊結プレート取り付け

AFリングを緊結プレート及びボルトによりマンホール本体に取り付けます。

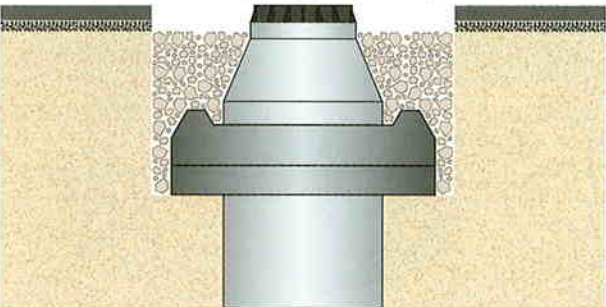


## ⑥ AFリング設置完了



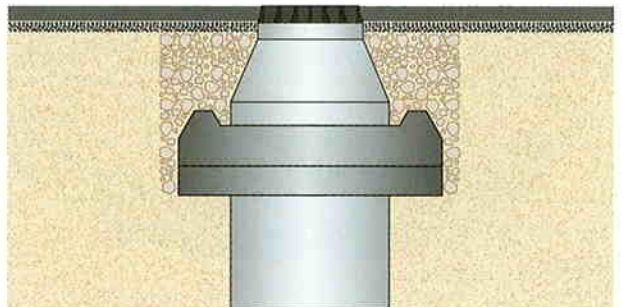
## ⑦ 碎石埋戻し

埋戻しは碎石を使用し、タンバ等で十分に転圧します。



## ⑧ 舗装復旧

埋戻し後、舗装復旧を行い施工が完了します。

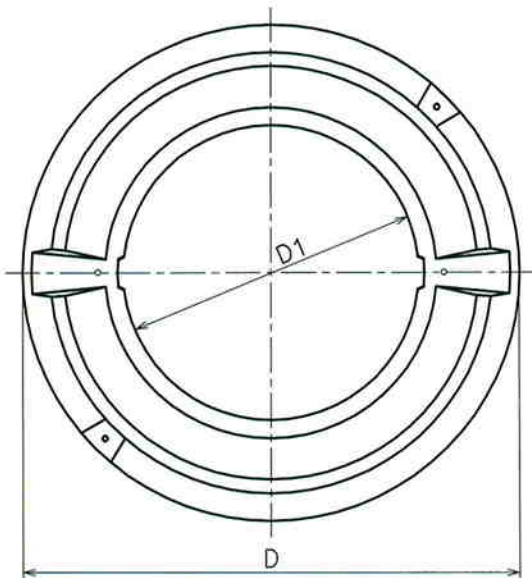
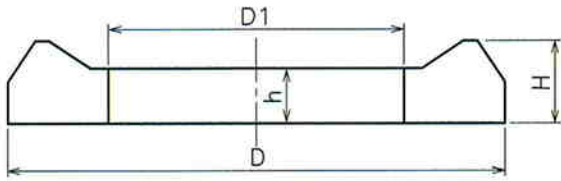


### ●標準掘削幅寸法表

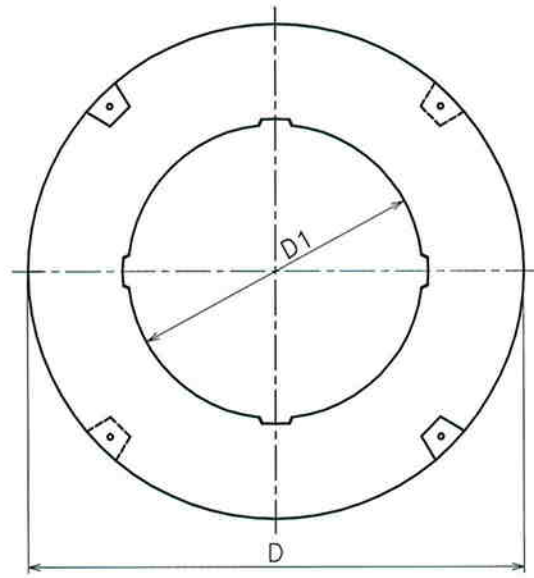
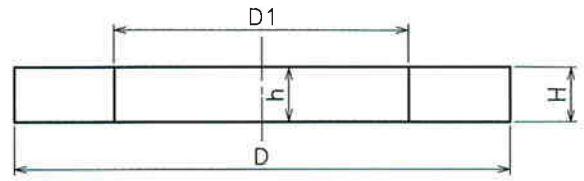
種類	標準掘削幅(mm)	種類	標準掘削幅(mm)
0号用AFリング	1800	2号用AFリング	2500
1号用AFリング	2000	3号用AFリング	3000

# 形状・寸法

AFリング(A)



AFリング(B)



種類	部材名	記号	D(mm)	D1(mm)	h(mm)	H(mm)	参考質量(kg)
0号用	AFリング(A)	M0AFR-A	1600	920	200	300	770
	AFリング(B)	M0AFR-B	1600	920	200	200	640
1号用	AFリング(A)	M1AFR-A	1800	1070	200	300	960
	AFリング(B)	M1AFR-B	1800	1070	200	200	790
2号用	AFリング(A)	M2AFR-A	2300	1420	300	400	2190(1095)
	AFリング(B)	M2AFR-B	2300	1420	300	300	1820(910)
3号用	AFリング(A)	M3AFR-A	2800	1770	300	400	2950(1475)
	AFリング(B)	M3AFR-B	2800	1770	300	300	2650(1325)

※2,3号用は2分割形状としています。( )内数値は、1ピースの重量です。



〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目22番2号(新宿サンエービル)株式会社ハネックス内  
 TEL(03)3348-4522 FAX(03)3342-6268  
<http://www.unihole.jp>